

## 「夢の実現」



河田 章（かわだ あきら）さん

1986年明治大学商学部卒業  
75代 ドラマセクションチーフ  
FUET委員長  
武蔵野銀行退職後、現在、コンサルタント会社勤務

英語部で華々しい活躍をした訳ではなく、卒業後もあまり英語を活かしておらず、OB会にも今までほとんど参加してない者として大変恐縮ですが、何かのお役に立てればと思い寄稿させていただきます。

明治大学に入学し、学生時代に何か一つ将来役に立つことを身に付けたいと思い英語部に入りました。当時一人暮らしをしていて午前中の授業はほとんどさぼり、昼休みのボイトレに行くのが日課でした。そのため商学部でありながら簿記の単位を落とすは4年生になってもフランス語の再々履のため和泉通いをしました。フレッシュマンディスカッションやレシテーションコンテスト、スピーチ大会など楽しい思い出です。夏合宿でウエストサイドストーリーのTONYを演じたことからドラマセクションを選択しました。

2年生の時にお茶の水ホームミーティングのサブチーフとFUETの副委員長を、3年生では、ドラマセクションチーフとFUET委員長を兼務し大変忙しい日々でしたが、他大学の方々とも交流でき貴重な経験をすることができました。

3年の授業が終了した後、単身でアメリカのバーモント州の大学に2か月短期留学することにしました。初めて飛行機に乗り窓からワールドトレードセンターや自由の女神を見た時は感動しました。就職活動では中学生からの夢であった銀行を志望し第二希望の武蔵野銀行に入行しました。

第2の夢は海外で働くことで、4年目に国際部に異動となりましたが国際的なイメージとは異なり外資系企業への転職を考えました。ちょうどその頃企業の融資取引を開拓する部が立ちあがり3年間法人開拓と企業担当を行いました。1997年香港駐在員事務所へ異動となり第2の夢も実現することができました。帰国後は9つの営業店で主に融資・外為と市場国際部に従事、英語を話す機会はほとんどありませんでしたが、ドキュメンツを読んだりメッセージを作成したりで英語が役に立ったのではと思っています。

56歳になり、定年を迎え、その後嘱託として2~3年勤務し75歳くらいで一生を終えればいいとぼんやり思っていたのですが、人生100年時代や老後不安がクローズアップされ、起業するか転職するか考えました。ひとまず起業は諦め転職することに決め、現在はスタートアップ企業から資金面の相談を受け投資家や銀行とマッチングさせる会社に勤務しています。毎日2~3社と面談していますが、ドローンやリチウム電池、都市型水力発電、スマート農業、同時通訳付き

テレビ Web 会議ツールなど近未来の世界に活躍するであろうビジネスに関わることができます。

今の夢は多くの人の「夢の実現」を応援することです。

現役生の皆さんへ、お伝えしたいと思います。

4 年前に発行されたリンダ・グラットン共著「LIFE SHIFT 100 年時代の人生戦略」の中で、有形資産（現金や預金、マイホームなど）だけでなく無形資産（スキルと知識、友情、健康、ネットワークなど）を形成することの重要性が書かれています。ESS での 4 年間は最適の時期です。生涯の武器や仲間を作って下さい。私も第一線を退き現在プライベートでミャンマー難民への日本語指導やラジオ体操の会の運営、コーチングや CIA（公認内部監査人）の勉強、倫理法人会や明治大学豊島区 OB 会への参加などを行っております。

最後にこれから社会に出る皆さんへ、世界は急速に変化し益々グローバル化は進展します。

また平均寿命が伸び、より長い年数働くことが必要になります。

「ワーク・ライフバランス」という言葉が職場でよく使われます。「仕事（つらいこと）と生きがい（楽しいこと）のバランスを取る」と理解されていますが、これからはどうせ働くなら「ワーク＝ライフバランス」働くことが生きがいと思える人生を送って欲しいと願います。なにせ憲法で日本人の義務として「教育を施す義務」「勤労の義務」「納税の義務」が規定されています。

2050 年の輝かしい未来に向け共に頑張りましょう。